

同窓の絆

中 條 道 雄

最近改めて関西学院の「同窓の絆」について感謝する機会が与えられました。それは今年4月に私が当初から顧問をしてきた女子陸上ホッケーのサークル「サンダーズ」が体育会陸上ホッケー部の女子チームとして新たなスタートをきることを許されたことに関ります。サンダーズは2002年に海外の高校の授業でホッケーを経験した総合政策学部の新入生を中心に、神戸三田キャンパスで立ち上げられて以来、メンバーの熱意と周りの陸上ホッケー団体や関係者の皆さまのご支援により順調に成長を遂げてきました。この間、最初は総合政策学部の学生のみでしたが、その後同じキャンパスの理工学部、更に上ヶ原キャンパスの学部からも積極的な参加を得るようにもなりました。このサンダーズが今回伝統ある関学の陸上ホッケー部の女子部として活動が出来るようになった背後には、男子部のOBの皆様はじめ多くの方々の多大なるご尽力・ご支援がありました。このサークルから女子部への昇格の件で何人かのOB幹部の方々とのメールのやり取りやお会いする機会を通して、OBの皆様の「関学・後輩を想う心」がいかに強く暖かいかを強く感じました。特に先日行われた関西大学との総合関関戦の折りに初めてお会いすることが出来た先輩は、中学部から関学で私も大変お世話になった矢内先生のご薫陶を受けられたお話をしてくださり大きな感銘を受けました。私は中学部・高等部・理学部（現在の理工学部）と10年間上ヶ原で学生生活を送り、その後は大学院留学以来長年アメリカで生活をしましたが、その間にもいろいろな場（NY支部同窓会を含む）で多くの卒業生の方々との素晴らしい出会いを経験しました。そのような機会にはお互いの関学での学生生活の思い出話の交換になることが多かったのですが、しばしば「チャペルアワーが懐かしい」とのお話を聞きました。

1995年に総合政策学部が三田キャンパスに第8番目の学部として開設されて以来、関西学院大学はさらなる成長を遂げて現在では11学部を擁しています。私と息子も学ばせていただいた中学部・高等部も初等部の卒業生の入学とともに共学化を迎えるなど関西学院は今後更に変革を遂げようとしています。このようななかで学生諸君とともに関学の教育の特長の一つである「チャペルアワー」の意義について改めて考え、大切にしていきたいと願っています。

（総合政策学部・教授）